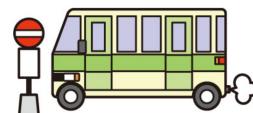


石本議員はバスについて市の方から、東寝屋川駅から総合センターや公共施設に行くバスが多く不便との声を聞いているが、この状況について市は認識しているか、今後市民の声に対してどうするのか質問しました。

市は、ビバモールを経由するなど、運行時間に大変時間がかかりすぎて不便であるとの意見が、地域公共交通協議会にも出ており認識している。

東寝屋川駒前線開通後に伴うバス路線の再編については、都市計画道路の新設に伴い市民の利便性を図るためバス路線の再編は必要であると考えている。

現在、地域公共交通網形成計画の策定を進める中で、9月末から10月16日まで市民アンケートを行うことにしている。公共施設17カ所にもアンケート用紙をおき、そのアンケート結果により、公共交通に関して市民ニーズ



市民の声を十分に聞いたまぬがへぐく

石本議員は、東寝屋川駅前線の進捗状況と用地の買収等についてほどのように進んでいくのか質問しました。



石本えりな議員

9月21日に開かれた建設水道常任委員会協議会で石本えりな議員は、東寝屋川駅前線、東部地域のまちづくりについて質問しました。

をめざし現在用地交渉等している。

用地買収については現在14件中1件を用地買収し、8件の物件補償調査を行つてある。

今年度中に残り6件の物件補償調査を行い、平成30年度の工事着手に向け取り組みを進めているとの答弁でした。

石本議員は、市民への周知方法についてどのようにしているのか

質問しました。

市は、これまでホームページや広報誌への掲載。周辺の11自治会で構成されている東部まちづくり連合会への説明を行うなど周知を行っている。今後については、完成予想図の看板を駅前に設置し、周知を図っていくとの答弁でした。



歩行者も車も

石本議員は、旧枚方富田林泉佐野線の道路について、市民から、歩道もなく側溝も深くて、車が通ると怖い。また、両側通行だが、車同士もどちらかが待たないと通行できない等との声を聞いています。整備についてはどうようになつてているのか質問しました。

市は、旧枚方富田林泉佐野線整備及び引き継ぎに関する協定書を府、市において締結した。この協定書に基づき、東寝屋川駅前線か

ら明和小学校の南の歩道がある狭隘部分の箇所について道路拡幅に向けた取り組みを進めしていく。今年度大阪府からの受託事業として寝屋川市において用地測量を行い、その後用地交渉を行い、平成32年度ぐらいから工事が行われる予定になつてゐるとの答弁でした。

東寝屋川駅前線・東部のまちづくりについて

建設水道常任委員会協議会 石本議員が質問

建設水道常任委員会協議会

賓州川民報 議會版

発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
072-824-1181
(内線2399)
FAX : 824-7760
No.2959

石本えりな
太秦元町9-2-203
090-8937-1934

太田とおる
高柳2-49-2
080-3818-9722

中林かずえ
宝町4-33

090-3944-8585
西田まさみ
石津中町30-3
090-9713-3588

前川なお
萱島東2-16-11
090-1025-7503

府営住宅総合募集
申込受付期間
平成29年10月2日（月）～
平成29年10月16日（月）
お問い合わせ申込み用紙は
日本共産党
市会議員各事務所まで



法律相談

日時 10月19日(木)

時間 18時30分~

場所 市民会館

第3・4会議室

お問い合わせは
日本共産党議員団まで

電話 824-1181

衆議院選挙の本番に入っていますが、議会版では公職選挙法の関係で選挙のことはお伝えできません。ご了承ください。

お知らせ

議会の提案で、議員報酬及び議員期末手当、議員の定数、政務活動費の額に関するについて専門委員会が作られています。

専門的事項にかかる調査が10月4日に第1回が開かれました。日程では、7回の予定で委員会が開かれます。どなたでも傍聴が

議員報酬・議員の定数等について 第二小委員会の調査が始まる

できますので、ぜひお越し下さい。



えりな
石本

7日に行われる予定でしたが、雨のため1日延期になり、8日に保育園の運動会が行われました。8日はとてもいい天気で、運動会日和でした。

長女は保育園での最後の運動会になり、お姫様を助けると張馬の練習をしていました。次女は忍者になり、お姫様を助けると張り切っていました。運動会に向けて、日頃から取り組んで

きました。みんなで協力し、運動会でお母さんやお父さんに見てもうう為にがんばってきた事が伝わり、みんなが我が子の成長を感じていました。

最後のリレーは毎回もらい泣きをし、必ずどちらかが負けます。だけどあきらめずに最後まで走りきる姿にみんなが感動していました。

これからもたくさんのある行事での子どもたちの成長を楽しみ、見守つていきた



ねやがわ30・10運動コースター

市は、家庭から出されたごみの分析調査を行いました。

ごみの中には、手をつけっていないまだ食べることができる食料品が、約6・9%も含まれていることが分かり、減らすことができる

みがたくさんあることが分かりました。

手つかずの食品をすべて消費すると年間約2300トンの削減につながります。

食品ロスをなくすためには、食材を買いますがない、使い切る、食べ残しがないように、料理を楽しむ」という取り組みです。

「お開き10分前は、食べ残しがないよう自席に戻って料理を楽しむ」市では、ねやがわ30・10運動を実施し3色のコースターを作成し食品ロス削減に取り組んでいます。

寝屋川市は、平成29年から31年の3年間で、燃やすごみの量(焼却処理量)を1万トン減量する計画を進めています。

29年度は、3000トンの減量が目標です。今年4月から8月ま

1年間で3000トン減量するには、5ヶ月で1250トンの減量が必要です。(左表参照)

コースターでアピール

5か月で1172トン減量
ごみ焼却量の月別推移

	焼却処理量 (単位:t)		
	平成28年度	平成29年度	増減量
4月	4,893	4,686	▼206
5月	5,197	4,727	▼469
6月	4,730	4,820	89
7月	4,956	4,585	▼370
8月	5,000	4,785	▼214
9月	4,577		
10月	4,804		
11月	4,852		
12月	4,786		
1月	4,605		
2月	3,630		
3月	5,054		
合計	57,083		▼1172